

ファッション
One Point
アドバイス

アグリー・クリスマスセーター

いよいよクリスマスシーズンに突入しました。クリスマス用のさまざまなグッズを用意する中、プレゼントはどれにしようかと思案中の方も多いでしょう。今回は、このシーズンに必ず話題になる「アグリー・クリスマスセーター」を紹介しましょう。

アグリー・クリスマスセーターは、クリスマス柄を編み込んだ“悪趣味”と呼ばれるセーターです。とはいえ海外では定番の人気アイテムで、今年は、“悪趣味のデザイン”を競う世界選手権がフランスで開かれたり、記念日が制定されているアメリカではセレブ達のセーターが話題になったりと、ホットなニュースが聞こえてきています。

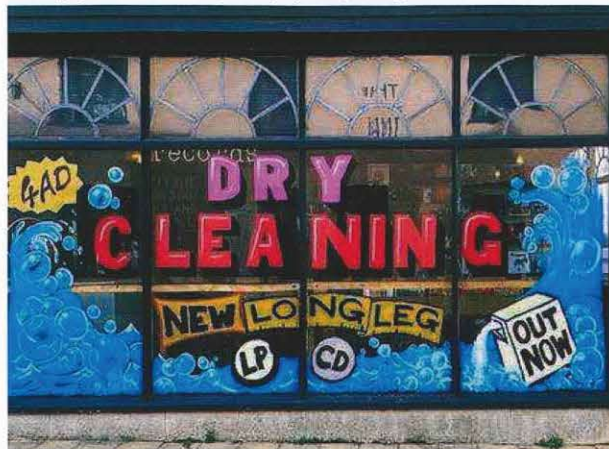


日本では海外のような盛り上がりはありませんが、昨年ごろから原宿や渋谷辺りのモード系ショップなどでアグリーセーターを取り扱うところが増え始め、SNSなどでもこのセーターを着こなす人たちの写真がUPされています。

子供の頃に母親やおばあちゃんが編んでくれたクリスマス柄のセーターとまでは言いませんが、せっかくですからこういう温かみのあるアイテムでクリスマス気分を高めてみるのはいかがでしょうか。

絵画の中の洗濯風景

新人バンド・ドライクリーニング



Smith Brothers chemically pure borax 1870年

これは、クリーニング店の壁に描かれた絵ではありません。イギリス南西部の小さな都市トットネスのレコード店に描かれたウィンドウペインティングなのです。実は、「洗濯」とは関係のない2021年にデビューしたパンクアートの新人バンド「ドライクリーニング」の広告画です。

「Dry cleaning (ドライクリーニング)」というユニークなバンド名です。

4AD というレコードレーベルから2021年にリリースされたデビューアルバム「ニュー ロング レッグ」を記念して制作されました。デビューアルバム「New Long Leg」は、日本の通販サイトアマゾンでも発売中です。大型新人として世界的に期待されているようです。



Dry cleaning



デビューアルバム

くらし応援ニュースレター

HomeDry News

ホームドライニュース No.106



- ファッション・ワンポイント:
アグリー・クリスマスセーター
- 絵画の中の洗濯風景:
新人バンド・ドライクリーニング
- 衣類のケア講座:
アパレル業界でもファッションの品質向上
- 衣生活の知恵:
伸び縮みするストレッチ衣料は変形しやすい



まごころクリーニング
ホームドライ ホームドライ



衣類のケア講座

アパレル業界でも ファッションの品質向上

クリーニングできなかつたり、クリーニングすると色が変わったりしてしまうトラブルには、ファッション製品の品質に問題があることが少なくありません。

環境省では、「サステナブルファッション」というファッション製品を長期間にわたって利用できるようアパレル業界にも耐久性の高い製品づくりを推奨しています。

多様なファッション製品を低価格で提供しようとする、染色などの加工工程や素材の品質が低下してしまうことがあります。そうすると、購入時には同じように見えるものでも、着用したりクリーニングしたりしたときに不具合が発生してしまうことになります。

繊維業界では、このようなトラブルを防ぐために「繊維製品品質管理士」という資格制度があり、繊維製品の品質に精通したスペシャリストが研究開発したり、情報交換をしたりしています。

10月27日には東京の会場で繊維製品品質管理士の会によって「品質情報展」という展示会が開催され多くの繊維関係者が参加しました。この中には、クリーニング会社に所属する繊維製品品質管理士のスタッフも多かったです。会場では、クリーニングによって発生するトラブル予防のための製品づくりの注意点などが紹介されました。



2022 品質情報展の会場風景



繊維製品の品質情報パネルに見入る来場者

「品質苦情はなぜなくなるのか?」というテーマで、50点の事例の紹介などのパネルが展示された他、ビデオ上映や討論会などが行われました。

パネル展示では、「①企画設計時の不良」として、顔料プリントの着用やドライクリーニングによるはがれなどの事例。「②加工不良や生産時のばらつき」では、汗と日光の複合作用による変色などが解説されていました。その他、「③技術的に改善が難しい課題」「④表示の不適合」について、科学的でわかりやすく紹介され、製品づくりの改善を提唱しました。



伸び縮みするストレッチ衣料は 変形しやすい

伸び縮みする生地で作られたストレッチ衣料は、ポリウレタンゴムという樹脂糸を編み込んだり、織り込んだりしてつくられています。

編み物でもカットソーといって、縫製してあるものが多いです。このような場合、ゴム糸が縫い針によって傷つけられ、着用中の運動や、クリーニングによってゴム糸が切れて縫製部分にそって飛び出してしまうことがあります。



一定期間着用していると、ポリウレタンゴムが弱くなって、膝や肘などの負担のかかる部分が伸びきってしまいます。また、ゴム糸の引っ張り強度に差ができると生地の表面に凸凹が発生することになります。